

令和6年度「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」の
取組状況に係る調査

採卵鶏の結果
(詳細版)

調査概要

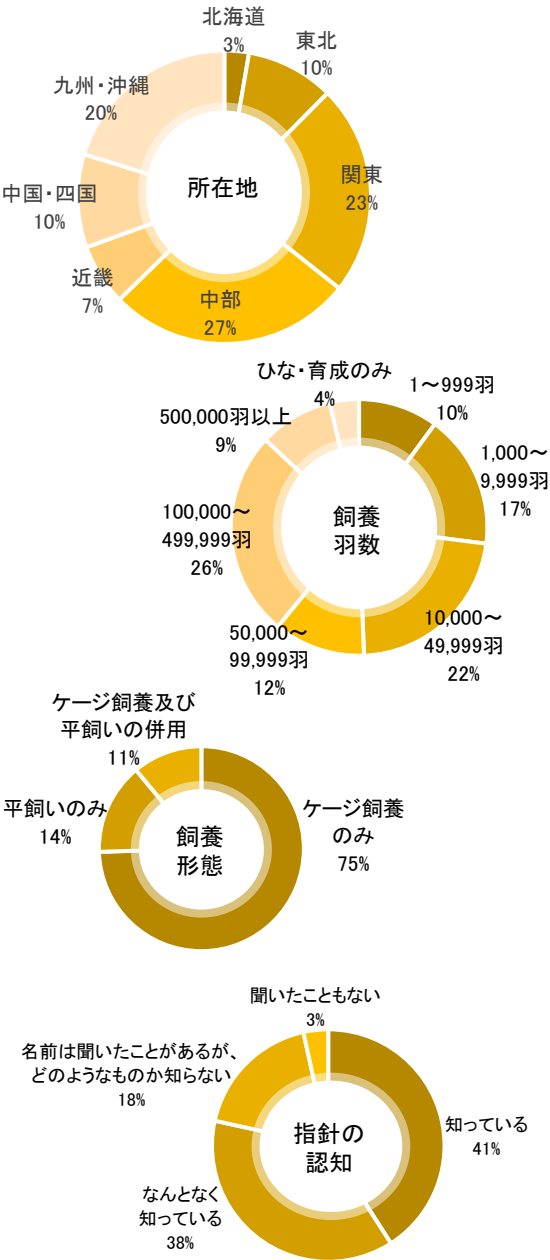
本調査は、農林水産省が令和5年7月に発出した「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」の取組状況を把握し、今後の国内におけるアニマルウェルフェアの取組の推進のための基礎データとするため、**令和6年11月～令和7年2月**に全国の採卵鶏の生産者を対象に実施したものである。

本調査の実施にあたっては、都道府県畜産主務課及び畜産関係団体（公益社団法人畜産技術協会）の協力のもと**オンラインフォームまたは紙の調査票**を通じて回答を回収し、農林水産省において、各設問の有効回答の積み上げにより集計を実施した。

本調査への**総回答数は、409件**であった。なお、調査結果の集計にあたり、無回答及び無効回答の排除等の処理を行ったため、設問間で回答数が一致しない場合がある。

○ 基本情報

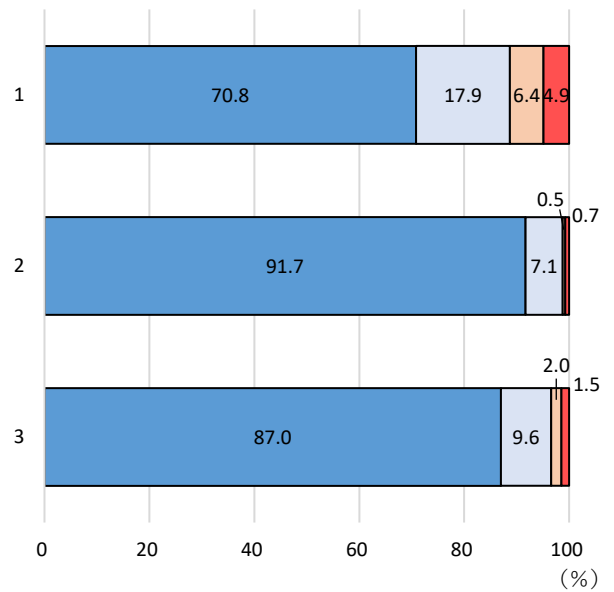
	回答数	割合
1 貴農場の所在地を記載してください。全体	369	100.0%
北海道	10	2.7%
東北地方	36	9.8%
関東地方	86	23.3%
中部地方	99	26.8%
近畿地方	25	6.8%
中国・四国地方	38	10.3%
九州・沖縄地方	75	20.3%
2 貴農場における成鶏めすの飼養羽数について当てはまる選択肢を選択してください。全体	406	100.0%
1～999羽	40	9.9%
1,000～9,999羽	69	17.0%
10,000～49,999羽	91	22.4%
50,000～99,999羽	47	11.6%
100,000～499,999羽	106	26.1%
500,000羽以上	38	9.4%
ひな・育成のみ	15	3.7%
3 貴農場の飼養形態を選択してください。全体	408	100.0%
ケージ飼養のみ	304	74.5%
平飼いのみ（例：エイビアリーや放牧など）	59	14.5%
ケージ飼養及び平飼いの併用	45	11.0%
4 令和5年7月に農林水産省が発出した「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」について、どのようなものか知っていますか。全体	408	100.0%
知っている	167	40.9%
なんとなく知っている	153	37.5%
名前は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない	74	18.1%
聞いたこともない	14	3.4%



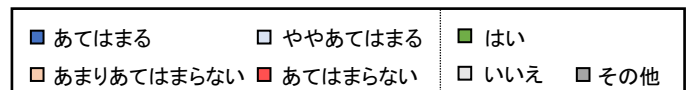
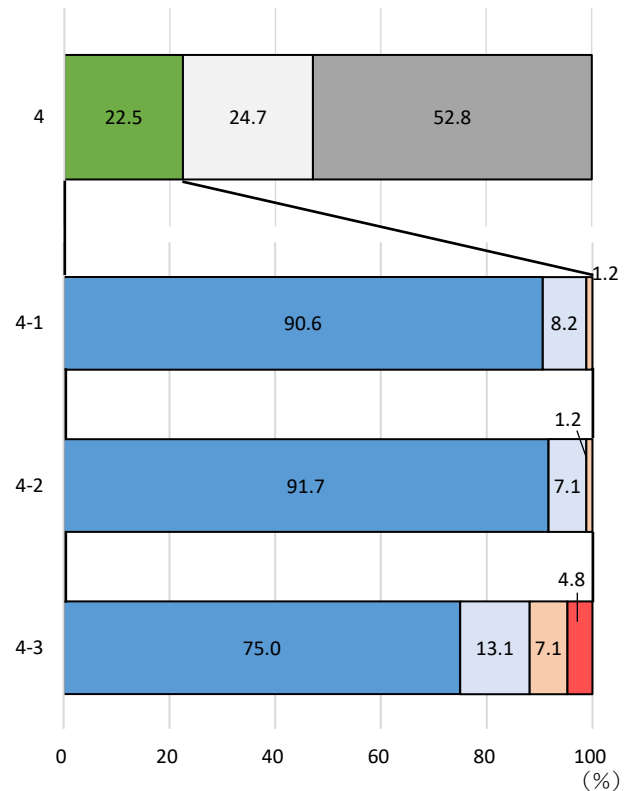
○ 飼養管理に関すること

1 管理方法について

		回答数	割合
1 1日1回以上、鶏の飼養環境や健康状態を確認し、飼養管理に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	全体	408	100.0%
	あてはまる	289	70.8%
	ややあてはまる	73	17.9%
	あまりあてはまらない	26	6.4%
	あてはまらない	20	4.9%
2 鶏に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを避けるなど、可能な限り鶏を丁寧に扱っている。	全体	409	100.0%
	あてはまる	375	91.7%
	ややあてはまる	29	7.1%
	あまりあてはまらない	2	0.5%
	あてはまらない	3	0.7%
3 捕鳥の際は、ストレス及び損傷等を最小限に抑えるよう努め、首又は翼の先端を持って取り上げないようにしている。	全体	408	100.0%
	あてはまる	355	87.0%
	ややあてはまる	39	9.6%
	あまりあてはまらない	8	2.0%
	あてはまらない	6	1.5%



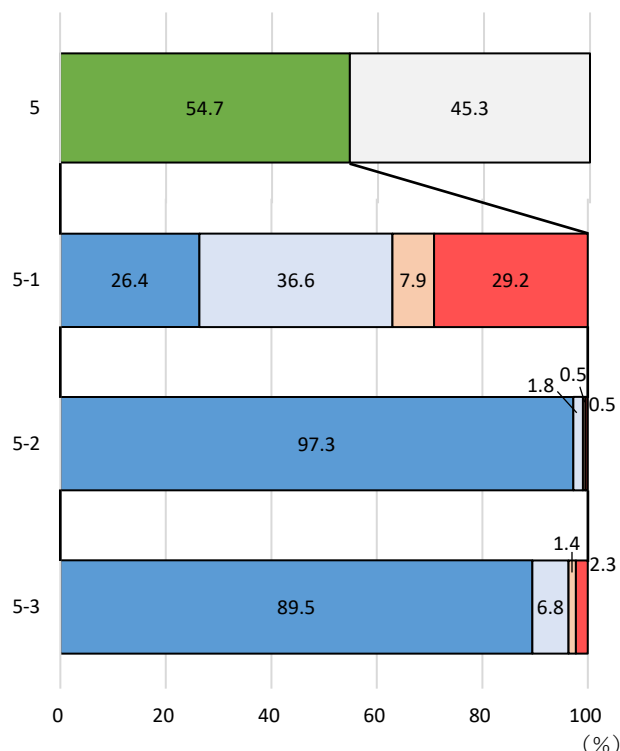
		回答数	割合
4 ビークトリミングを行っている。 (「はい」を選択した場合、以下4-1～4-3に回答)	全体	405	100.0%
	はい	91	22.5%
	いいえ	100	24.7%
	その他(ビークトリミング実施済の雛を導入している)	214	52.8%
4-1 ビークトリミングは、熟練した者が可能な限り若齢の時に実施している。	全体	85	100.0%
	あてはまる	77	90.6%
	ややあてはまる	7	8.2%
	あまりあてはまらない	1	1.2%
	あてはまらない	0	0.0%
4-2 ビークトリミングは、痛みを最小限に抑え、出血を少なくする方法で、必要最小限の部分のみを取り除いている。	全体	84	100.0%
	あてはまる	77	91.7%
	ややあてはまる	6	7.1%
	あまりあてはまらない	1	1.2%
	あてはまらない	0	0.0%
4-3 ビークトリミング後は、止血しているか注意深く観察し、必要に応じてビタミン剤を投与する等の処置を行っている。	全体	84	100.0%
	あてはまる	63	75.0%
	ややあてはまる	11	13.1%
	あまりあてはまらない	6	7.1%
	あてはまらない	4	4.8%



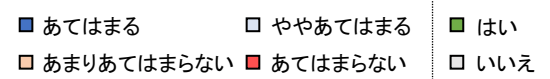
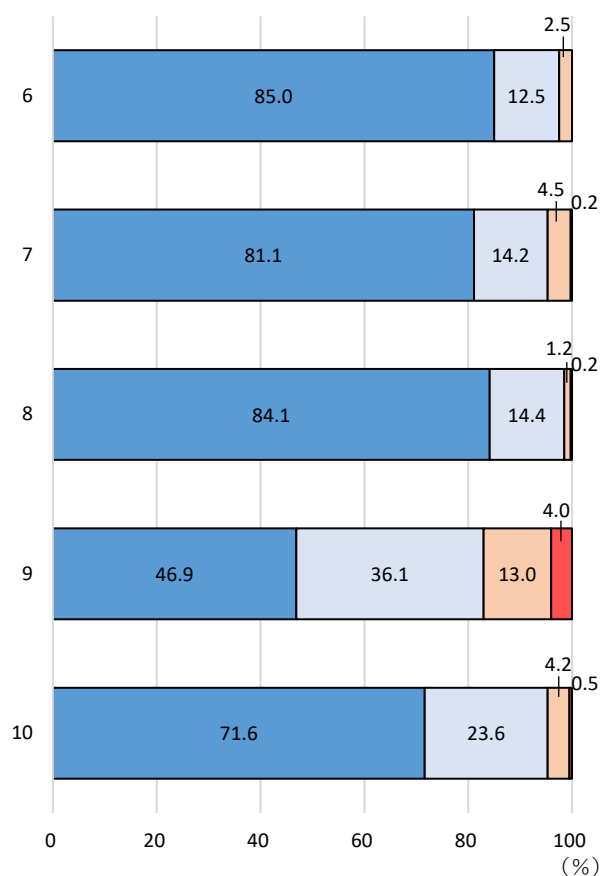
○ 飼養管理に関すること

1 管理方法について（続き）

		回答数	割合
5 換羽処理を行っている。 （「はい」を選択した場合、以下5-1～ 5-3に回答）	全体	406	100.0%
	はい	222	54.7%
	いいえ	184	45.3%
5-1 換羽処理の際、24時間以上の絶食は 行わないようにしている。	全体	216	100.0%
	あてはまる	57	26.4%
	ややあてはまる	79	36.6%
	あまりあてはまらない	17	7.9%
	あてはまらない	63	29.2%
5-2 換羽処理の際、常に飲水可能として いる。	全体	219	100.0%
	あてはまる	213	97.3%
	ややあてはまる	4	1.8%
	あまりあてはまらない	1	0.5%
	あてはまらない	1	0.5%
5-3 換羽処理の際、適切な光線管理を実 施している。	全体	219	100.0%
	あてはまる	196	89.5%
	ややあてはまる	15	6.8%
	あまりあてはまらない	3	1.4%
	あてはまらない	5	2.3%

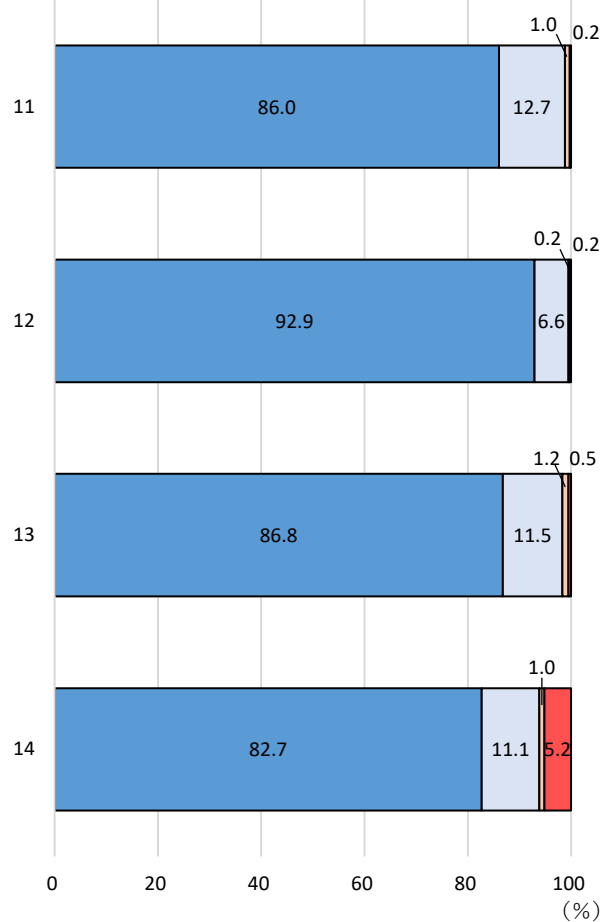


		回答数	割合
6 鶏舎の清掃や消毒等を行い、施設、 設備等を清潔に保っている。	全体	400	100.0%
	あてはまる	340	85.0%
	ややあてはまる	50	12.5%
	あまりあてはまらない	10	2.5%
	あてはまらない	0	0.0%
7 家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛 生管理基準」を遵守するとともに、 「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、 日常から伝染性疾患の発生予防に 必要な知識を習得している。	全体	402	100.0%
	あてはまる	326	81.1%
	ややあてはまる	57	14.2%
	あまりあてはまらない	18	4.5%
	あてはまらない	1	0.2%
8 病原体を伝播する有害動物や吸血 昆虫、外部寄生虫の侵入及び発生を 防止するとともに、発生時は速やか に駆除している。	全体	403	100.0%
	あてはまる	339	84.1%
	ややあてはまる	58	14.4%
	あまりあてはまらない	5	1.2%
	あてはまらない	1	0.2%
9 アニマルウェルフェアの指標や改善 方法について知識を身に付けている。	全体	399	100.0%
	あてはまる	187	46.9%
	ややあてはまる	144	36.1%
	あまりあてはまらない	52	13.0%
	あてはまらない	16	4.0%
10 鶏の健康及び良好な飼養環境を確 保するため、十分な人数の飼養者等 を確保している。	全体	402	100.0%
	あてはまる	288	71.6%
	ややあてはまる	95	23.6%
	あまりあてはまらない	17	4.2%
	あてはまらない	2	0.5%



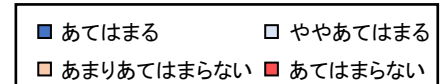
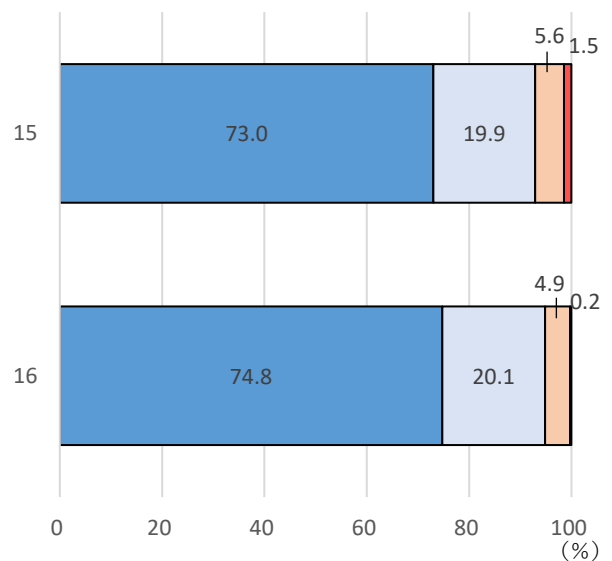
○ 飼養管理に関すること 2 栄養について

		回答数	割合
11 週齢や生産方法等に応じて、毎日、飼料及び水を質及び量ともに満たすよう給与し、適正なボディコンディションの範囲を逸脱しないように管理している。	全体	408	100.0%
	あてはまる	351	86.0%
	ややあてはまる	52	12.7%
	あまりあてはまらない	4	1.0%
	あてはまらない	1	0.2%
12 全ての鶏が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取できるよう、給餌及び給水の設備を設置している。	全体	408	100.0%
	あてはまる	379	92.9%
	ややあてはまる	27	6.6%
	あまりあてはまらない	1	0.2%
	あてはまらない	1	0.2%
13 給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行っている。	全体	408	100.0%
	あてはまる	354	86.8%
	ややあてはまる	47	11.5%
	あまりあてはまらない	5	1.2%
	あてはまらない	2	0.5%
14 食鳥処理前は、輸送等の時間も考慮した上で、過度に長時間の絶食は行わないようにしている。	全体	405	100.0%
	あてはまる	335	82.7%
	ややあてはまる	45	11.1%
	あまりあてはまらない	4	1.0%
	あてはまらない	21	5.2%



○ 飼養管理に関すること 3 鶏舎について

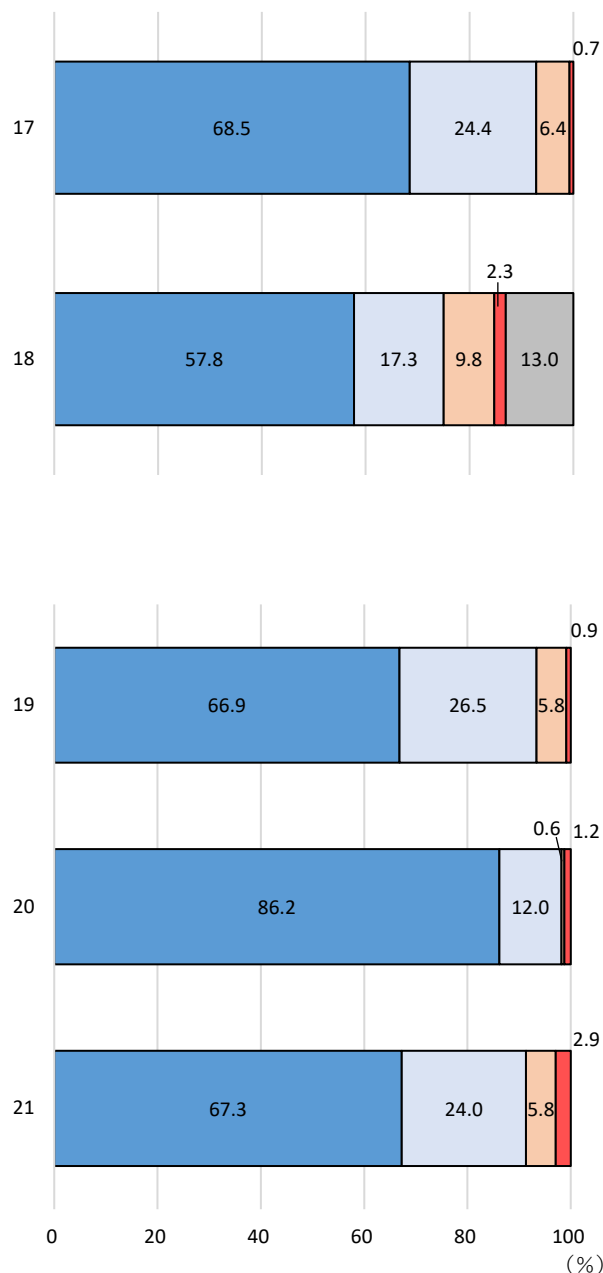
		回答数	割合
15 気象環境の変動によって鶏舎内の温度及び湿度が大きく変化しないよう維持及び管理している。	全体	408	100.0%
	あてはまる	298	73.0%
	ややあてはまる	81	19.9%
	あまりあてはまらない	23	5.6%
	あてはまらない	6	1.5%
16 鶏舎等は、損傷の原因となるような突起物や破損個所がなく、清掃及び消毒が容易な構造としている。	全体	408	100.0%
	あてはまる	305	74.8%
	ややあてはまる	82	20.1%
	あまりあてはまらない	20	4.9%
	あてはまらない	1	0.2%



○ 飼養管理に関すること

4 飼養方式について

		回答数	割合
17 同じ鶏群の全ての鶏に対し、妨げられることなく、同時に休息し、正常な姿勢をとる等のために十分な空間を与えている。	全体	406	100.0%
	あてはまる	278	68.5%
	ややあてはまる	99	24.4%
	あまりあてはまらない	26	6.4%
	あてはまらない	3	0.7%
		回答数	割合
18 異常な行動がみられる場合、飼養空間の再設定等の是正措置を講じている。	全体	400	100.0%
	あてはまる	231	57.8% (66.4%)
	ややあてはまる	69	17.3% (19.8%)
	あまりあてはまらない	39	9.8% (11.2%)
	あてはまらない	9	2.3% (2.6%)
	非該当(異常な行動が見られない)	52	13.0%
		回答数	割合
19 ケージで飼養している場合、飼料及び水の摂取が可能で、自然な姿勢で移動したり姿勢を正常に調整したりできるような飼養密度としている。	全体	347	100.0%
	あてはまる	232	66.9%
	ややあてはまる	92	26.5%
	あまりあてはまらない	20	5.8%
	あてはまらない	3	0.9%
20 ケージを積み重ねて鶏を飼養する場合、上段の鶏の排せつ物が下段の鶏の上に落ちないように考慮され、全ての鶏が十分に観察でき、必要な時は、ケージから容易に鶏を取り出せるよう配置している。	全体	333	100.0%
	あてはまる	287	86.2%
	ややあてはまる	40	12.0%
	あまりあてはまらない	2	0.6%
	あてはまらない	4	1.2%
21 平飼い方式で飼養している場合、闘争行動を防止するための飼養空間の拡大、損傷した鶏やつつきをする鶏の分離、照度の低減、飼料形状の調整(細粒化)、付帯設備の提供等を行っている。	全体	104	100.0%
	あてはまる	70	67.3%
	ややあてはまる	25	24.0%
	あまりあてはまらない	6	5.8%
	あてはまらない	3	2.9%

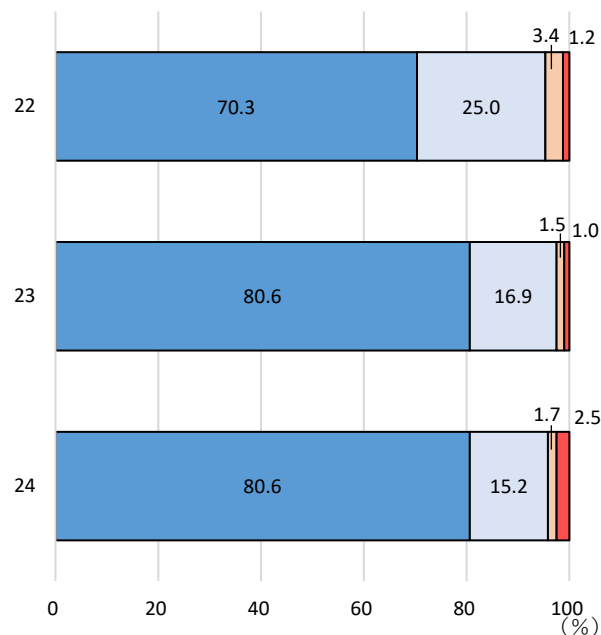


※()内は非該当数を除いたときの割合

■ あてはまる □ ややあてはまる
 ■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない ■ 非該当

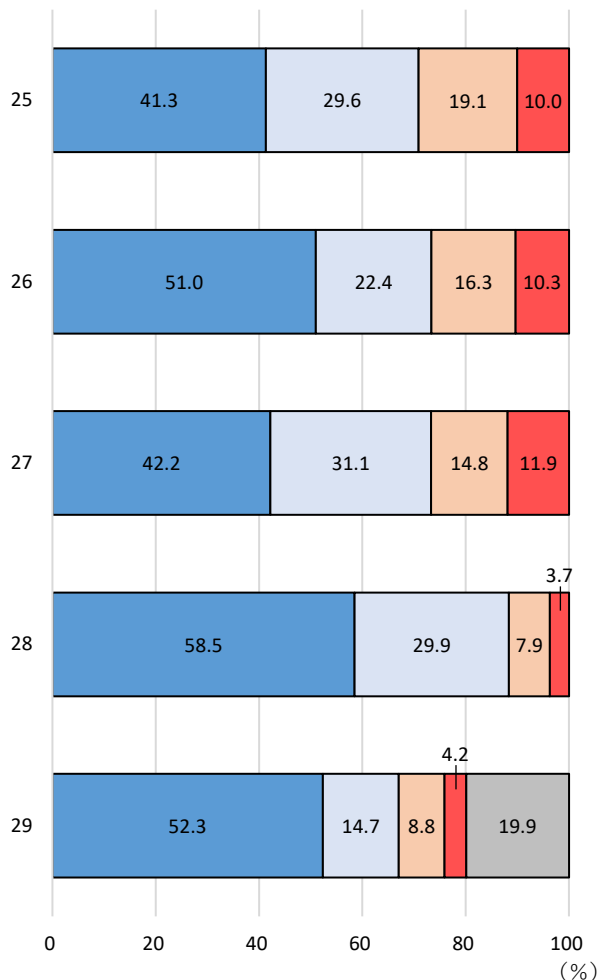
○ 飼養管理に関すること 5 鶏舎の環境について

		回答数	割合
22 鶏が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っている。	全体	408	100.0%
	あてはまる	287	70.3%
	ややあてはまる	102	25.0%
	あまりあてはまらない	14	3.4%
	あてはまらない	5	1.2%
23 鶏舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮な空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	全体	408	100.0%
	あてはまる	329	80.6%
	ややあてはまる	69	16.9%
	あまりあてはまらない	6	1.5%
	あてはまらない	4	1.0%
24 光線管理に当たっては、鶏舎内に適切な継続した明期を設け、鶏の正常な行動や飼養者等による適切な管理のため、十分な照度を均等に照射している。	全体	408	100.0%
	あてはまる	329	80.6%
	ややあてはまる	62	15.2%
	あまりあてはまらない	7	1.7%
	あてはまらない	10	2.5%



○ 飼養管理に関すること 6 アニマルウェルフェアの状態確認等について

		回答数	割合
25 「採卵鶏の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェックリスト等(その他類似するチェックシートを含む。)を用いるなど、アニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理の現状を確認している。	全体	409	100.0%
	あてはまる	169	41.3%
	ややあてはまる	121	29.6%
	あまりあてはまらない	78	19.1%
	あてはまらない	41	10.0%
26 災害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マニュアル(緊急連絡網・緊急時の対応をまとめたもの)等を整備している。	全体	406	100.0%
	あてはまる	207	51.0%
	ややあてはまる	91	22.4%
	あまりあてはまらない	66	16.3%
	あてはまらない	42	10.3%
27 危機管理マニュアル等を習熟するとともに、全ての農場関係者と共有している。	全体	405	100.0%
	あてはまる	171	42.2%
	ややあてはまる	126	31.1%
	あまりあてはまらない	60	14.8%
	あてはまらない	48	11.9%
28 自然災害等の影響により、鶏や鶏舎等に被害が生じるおそれがある場合、可能な限り、事前に対策をとっている。	全体	405	100.0%
	あてはまる	237	58.5%
	ややあてはまる	121	29.9%
	あまりあてはまらない	32	7.9%
	あてはまらない	15	3.7%
		回答数	割合
29 警報や発電機などの予備システムは、機器のメーカーの推奨する頻度を考慮し、定期的に点検している。	全体	407	100.0%
	あてはまる	213	52.3% (65.3%)
	ややあてはまる	60	14.7% (18.4%)
	あまりあてはまらない	36	8.8% (11.0%)
	あてはまらない	17	4.2% (5.2%)
	非該当(予備システムを設置していない)	81	19.9%



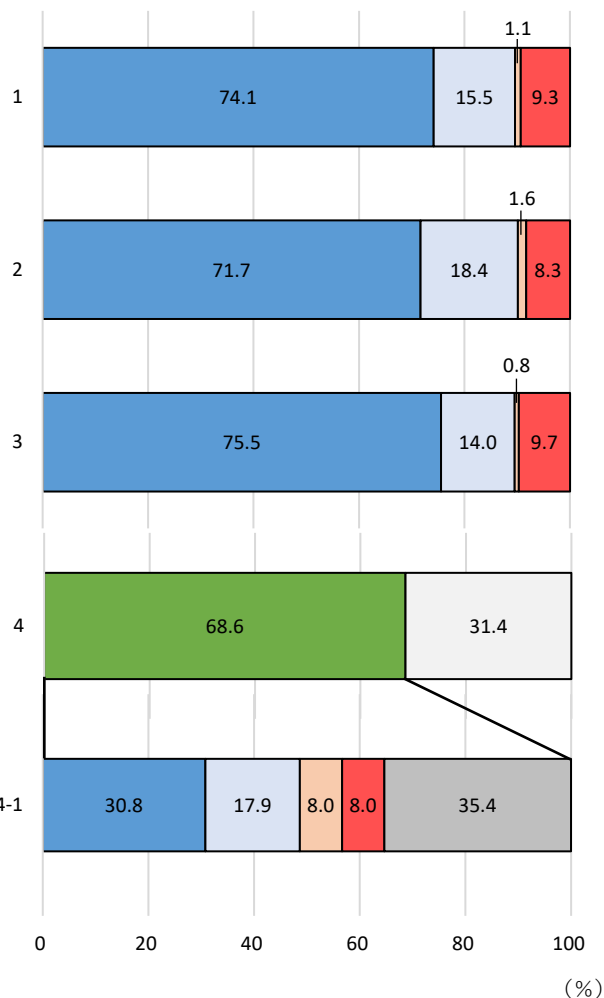
※()内は非該当数を除いたときの割合

■ あてはまる □ ややあてはまる
■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない ■ 非該当

○ 輸送に関すること

		回答数	割合
1 鶏の輸送に携わる全ての者が、鶏を丁寧に取扱い(首や羽の先端を持たないなど)、責任を持って鶏を輸送している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	278	74.1%
	ややあてはまる	58	15.5%
	あまりあてはまらない	4	1.1%
	あてはまらない	35	9.3%
2 輸送が鶏にとって過度な負担とならないよう、また、不要なストレスを与えないよう注意している。	全体	374	100.0%
	あてはまる	268	71.7%
	ややあてはまる	69	18.4%
	あまりあてはまらない	6	1.6%
	あてはまらない	31	8.3%
3 輸送にかかる総時間は最小限となるようにしている。	全体	372	100.0%
	あてはまる	281	75.5%
	ややあてはまる	52	14.0%
	あまりあてはまらない	3	0.8%
	あてはまらない	36	9.7%
4 鶏の輸送は、運送業者等外部に委託している。 (「はい」を選択した場合、以下4-1に回答)	全体	404	100.0%
	はい	277	68.6%
	いいえ	127	31.4%
		回答数	割合
4-1 鶏の輸送を運送業者等外部に委託する際に、委託条件の中にアニマルウェルフェアへの配慮や丁寧な取扱いに関する事項が盛り込まれている。	全体	263	100.0%
	あてはまる	81	30.8% (47.6%)
	ややあてはまる	47	17.9% (27.6%)
	あまりあてはまらない	21	8.0% (12.4%)
	あてはまらない	21	8.0% (12.4%)
	非該当 (確認できない)	93	35.4%

※()内は非該当数を除いたときの割合



○ 家畜の農場内における安楽死

		回答数	割合
1 獣医師の診断を踏まえ、判断権限がある者がその家畜を安楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っている。	全体	385	100.0%
	あてはまる	133	34.5% (53.0%)
	ややあてはまる	68	17.7% (27.1%)
	あまりあてはまらない	25	6.5% (10.0%)
	あてはまらない	25	6.5% (10.0%)
	非該当 (行う機会がない)	134	34.8%

※()内は非該当数を除いたときの割合

